

2010年10月21日

プレスリリース

本資料は10月21日にチュ
ーリッヒで発表されたプレ
スリリースの翻訳版です

クレディ・スイス・グループ 2010年第3四半期業績を発表

純利益 6 億スイス・フラン (CHF)、基礎的純利益 10 億 CHF*、新規純資
産 146 億 CHF、Tier 1 資本比率 16.7%

市場取引高と顧客活動の低迷が顕著であった当四半期に、すべての事業部門が利益を計上。
規律ある投資の継続で、市場回復時に優位に立てる位置を維持

プライベート・バンキング部門：顧客活動の著しい低迷が顕著な市場環境において心強い業
績

- 税引前利益 8 億 3,600 万 CHF
- プライベート・バンキング部門における新規純資産 126 億 CHF
- ウェルス・マネジメント顧客事業の税引前利益 6 億 1,200 万 CHF、グロス・マージン 118
ベース・ポイント
- コーポレート&インスティテューショナル顧客事業の税引前利益 2 億 2,400 万 CHF、高
い税引前利益マージンを維持

インベストメント・バンキング部門：弱含みの収益環境下で堅調な市場シェア業績

- 税引前利益 3 億 9,500 万 CHF
- 債券セールス&トレーディング、引受およびアドバイザー業務で堅調な収入
- 業界全体の顧客取引高の減少により株式業務は第 2 四半期を下回る

アセット・マネジメント部門：事業戦略の実施の継続、第三者資本とフィーベース事業モデ
ルの構築で引き続き進展

- 税引前利益 1 億 3,500 万 CHF
- ヨーク・キャピタル・マネジメント社の被支配持分取得の合意により、マージンと資本
効率の高い事業の構築のための戦略を推進
- 新規純資産 36 億 CHF、5 四半期連続でプラスの資産流入

2010年1-9月期の業績は、クレディ・スイスの戦略、事業モデル、および業績持続性に実効
性があることを引き続き示す

- 純利益 43 億 CHF
- 株主資本利益率 15.9%
- 新規純資産合計 551 億 CHF

クレディ・スイス・グループは、本日、2010年第3四半期の業績を発表しました。それによると、2010年第3四半期の純利益は6億900万CHF（前年同期は15億9,300万CHFの純利益）、中核事業の純収益は62億8,400万CHF（前年同期は84億2,000万CHFの純収益）、基礎的純利益は9億6,000万CHFでした。当四半期の株主資本利益率は7.0%、基礎的株主資本利益率は11.2%、希薄化後1株当たり純利益率は0.48CHFでした。当四半期末現在のTier 1資本比率は16.7%でした。

最高経営責任者（CEO）のブレイディ・ドゥーガンは次のように述べています。「市場取引高と顧客活動の低迷が顕著であった当四半期にあって、基礎的純利益10億CHFは堅調な成果であったといえます。当社は、顧客中心で資本効率が高く、ハイリターン型の事業への規律ある投資を継続します。当社は、これらの投資を通じて、対象事業における市場シェアを拡大し、大幅な新規純資産を獲得しています。当社の戦略は、規制強化の影響をすでに織り込んでおり、インベストメント・バンキング部門では資本効率の低い事業から撤退し、プライベート・バンキング部門では、世界規模でオンショア、オフショア双方の事業基盤構築を継続しています。事業モデル、世界規模の事業基盤、強力な市場ポジションが確立されているので、今後市場が回復すれば高いリターンとキャッシュ・フローを創出することができます」。

「プライベート・バンキング部門は、引き続き大幅な新規純資産を獲得し、心強い業績となりました。アジア太平洋地域では特に良好な業績となり、年率20%以上の事業成長を達成しました。これにより、顧客のクレディ・スイスに対する信用が高まりました。収益はやや低調にとどまりました。同部門の事業は、低金利環境に特徴づけられる景気循環の底付近にあり、また低調な顧客活動によってさらに打撃を受けました。しかし、成長見通しは引き続き明るいと考えています。当社は規律ある投資を通じて世界規模で事業基盤を拡充しており、市場が回復すれば、プライベート・バンキング部門はそれを活用できる態勢が整っています。スイス国内では、同国の重要な金融サービス・プロバイダーとしての役割を担うコーポレート&インスティテューショナル顧客事業が、再度良好な業績を達成し、高い税引前利益マージンを維持しました」。（ドゥーガン）

「インベストメント・バンキング部門では、引き続き市場シェア拡大の勢いが見られ、自信を与えられています。債券、引受、およびアドバイザリー業務は、当社の競争力の向上を反映して、堅調な業績を達成しました。株式業務の顧客中心業務の業績は、業界全体の取引高と一致しています。当社株式業務の2010年年初来の収益ボラティリティは、業界全体と比較して低いものとなりました。これは、当社が顧客中心業務における強い市場ポジションを維持していることを示しています」。（ドゥーガン）

「アセット・マネジメント部門については、事業戦略の進展、堅調な業績、強力な純資産流入を喜ばしく思います。ヨーク・キャピタル・マネジメント社の非支配持分取得を発表しましたが、これは、マージンと資本効率の高い事業に集中し、グローバル事業基盤を活用するという当社事業戦略の重要な次へのステップです」。（ドゥーガン）

「1-9月期の業績は、株主資本利益率15.9%を達成するなど、当社の事業モデルが景気循環全体を通じて強力な利益を生むことを示しました。当社は、必要資本やクロスボーダー体制に関する規制変更の多くを予期していました。これは、当社が新しい規制要件に十分に対応

でき、かつ同等に株主に魅力的な利益を還元できる位置を確保していることを意味します」。(ドゥーガン)

決算ハイライト

単位：百万 CHF	2010年 1-9月期	2009年 1-9月期	2010年 第3 四半期	2010年 第2 四半期	2009年 第3 四半期	2010年 第2四半期 からの増減率 (%)	2009年 第3四半期か らの増減率 (%)
当期純利益 株主帰属ベース	4,257	5,931	609	1,593	2,354	(62)	(74)
希薄化後1株当たり利益 (CHF)	3.29	4.59	0.48	1.15	1.81	(58)	(73)
株主資本利益率 株主帰属ベ ース (年換算)	15.9%	21.8%	7.0%	17.8%	25.1%	-	-
Tier 1 資本比率 (期末)	-	-	16.7%	16.3%	16.4%	-	-
中核事業							
純収益	23,665	27,084	6,284	8,420	8,917	(25)	(30)
貸倒引当金繰入額	(56)	546	(26)	20	53	-	-
営業費用合計	18,228	19,300	5,557	6,594	6,244	(16)	(11)
継続事業からの税引前利益 ¹⁾	5,493	7,238	753	1,806	2,620	(58)	(71)

¹⁾ 中核事業は3事業部門とコーポレート・センター、非継続事業の業務を含む。ただし大きな経済的利益を有しない非支配持分に関する利益と費用を除く。

部門別業績

プライベート・バンキング部門

ウェルス・マネジメント顧客事業とスイス国内コーポレート&インスティテューショナル顧客事業からなるプライベート・バンキング部門の当四半期の税引前利益は8億3,600万CHFでした。これにはオークション・レート証券(ARS)の非クレジット関連引当金4,400万CHFが含まれています。季節的景気減速に特徴づけられる当四半期の低調な市場環境を鑑みれば、今回の業績は堅調であったといえますが、2010年第2四半期の水準を4%下回りました。これは純収益が2010年第2四半期対比6%減の28億2,600万CHFとなったためです。この減収は、営業費用合計が5%減少したものの、売買委託手数料収入がそれを上回って減少したためです。

ウェルス・マネジメント顧客事業の当四半期の税引前利益は6億1,200万CHFで、2010年第2四半期を3%下回りました。当四半期の純収益は2010年第2四半期を5%下回りました。継続事業ベースの収益は2010年第2四半期を4%下回りましたが、これは純利息収益と経常手数料収益の減少によります。トランザクション・ベースの収益は、2010年第2四半期を9%下回りましたが、これは主に売買委託手数料収入と顧客取引からの外国為替収入の大幅な減少に関連するもので、季節的な景気減速と顧客活動の顕著な低迷を反映しています。総マージンは2010年第2四半期を2ベース・ポイント下回る118ベース・ポイントで、これは主に純収益の減少と平均運用資産が3.4%減少したことによります。営業費用は、ARSの非クレジット関連引当金の計上にもかかわらず、ほとんどの分野でコストを削減したため、2010年第2四半期を5%下回りました。これは主にIT費用の削減と営業マーケティング費用が季節的に減少したことによります。

コーポレート&インスティテューショナル顧客事業は、引き続きスイス国内における主要な金融サービス・プロバイダーとしての役割を担い、当四半期に税引前利益2億2,400万CHFを計上しました(2010年第2四半期比7%減)。当四半期の純収益は2010年第2四半期を

7%下回りましたが、これは純利息収益が5%減少し、非利息収益が12%減少したことによります。純利息収益の減少は、主に平均融資件数の微減によるマージンの低下と安定的な平均預金件数のマージンの微減によります。非利息収益は1億5,300万CHFに減少しましたが、これはシンセティック・ローン担保ポートフォリオである「クロック・ファイナンス」関連時価損失が2,100万CHFとなったためです(2010年第2四半期は100万CHF)。クロック・ファイナンスの損失分を除いた基礎的な非利息収益は安定的に推移しました。スイス国内における企業倒産件数の増加にもかかわらず、貸倒引当金繰入額は2010年第2四半期の正味1,300万CHFの取り崩しに続き、当四半期もさらに1,600万CHFの取り崩しを行いました。

インベストメント・バンキング部門

インベストメント・バンキング部門の当半期の税引前利益は3億9,500万CHFで、2010年第2四半期を50%下回りました。これは、季節的な景気減速によって顧客取引が減少し、同部門の事業にマイナスの影響を与えたためです。当四半期の純収益は34億2,100万CHFでした。これは厳しい市場状況にもかかわらず、債券セールス&トレーディング、引受、アドバイザリー業務が堅調で、大部分の商品分野における市場シェアの勢いが維持されたためです。当四半期の純収益は2010年第2四半期比17%減で、これは極めて低調であった7月、通常夏季の傾向を示した8月、幾分の改善が見られた9月の業績を反映しています。同部門の業績は、クレディ・スイス社債の公正価値評価額損5,700万CHFを反映しています(2010年第2四半期の公正価値評価額損は6,200万CHF)。業績はまた、当四半期、仕組み手形負債に関連した社債評価調整損失分(DVA)1億7,200万CHFの影響を受けています(2010年第2四半期はDVA利益分1億2,100万CHF)。当四半期の税引前利益マージンは11.5%(2010年第2四半期は19.1%)、税引前平均利用経済資本利益率は8.5%でした(2010年第2四半期は15.8%)。

当四半期の債券セールス&トレーディング業務の業績は前期を上回りました。これは米国住宅用モーゲージ担保証券(RMBS)トレーディング、クレジット、グローバル金利、および新興市場業務の堅調な業績によるものです。株式セールス&トレーディング業務は、顧客中心の事業モデルを反映し、引き続き市場シェアの勢いが見られたものの、顧客取引の減少による影響を受けました。引受およびアドバイザリー業務の業績は堅調で、業界全体の資本発行レベルおよびM&A活動と一致しています。債券引受業務の収益は好調で、ハイイールド債など業界全体の発行レベルの上昇によって牽引されました。一方、株式の引受およびアドバイザリー業務の収益は、これまでに比べ、株式発行レベルおよび完了したM&A取引高が引き続き軟調であったことを反映しています。

当四半期の従業員報酬および手当は18億7,200万CHFで、2010年第2四半期を下回りました。これは主に外国為替の影響によります。米ドル建ての従業員報酬および手当は2010年第2四半期に比べ若干増加しました。これは業績関連報酬および手当が若干増えたものの、その大半が株式賞与の交付に課される社会保障税の減少によって相殺されたことによります。その他の営業費用の合計は2010年第2四半期を9%下回りましたが、これは外国為替の影響、手数料費用の若干の減少、ほとんどの費用分野にわたる一般管理費の減少を反映しています。

当四半期末現在のリスク加重資産残高は1,510億米ドルで、2010年第2四半期末現在の1,420億米ドルを上回りました。これは主にレバレッジ・ファイナンスとコーポレート・バンキング業務における貸出約定料収入の増加、営業上のリスク構成要素に対する外国為替の影響、その他の顧客関連リスク加重資産活用の増加に関連しています。当四半期の一日平

均バリューアットリスク値 (VaR) 99%は、1億1,800万 CHF でした (2010年第2四半期は1億1,700万 CHF)。

アセット・マネジメント部門

アセット・マネジメント部門の当四半期の税引前利益は1億3,500万 CHF でした。2010年第2四半期の税引前利益は2,200万 CHF でした。当四半期の純収益は5億8,200万 CHF で、2010年第2四半期期の5億200万 CHF を上回りました。これは主に投資関連利益の増加およびフィーベース収益の増加が、株式資本参加による収益の減収およびクレディ・スイスのマネー・マーケット・ファンドから取得した証券の2010年第2四半期計上分の売却益3,600万 CHF によって一部相殺されたことによるものです。投資関連利益およびクレディ・スイスのマネー・マーケット・ファンドから取得した証券計上前の純収益は2%増加しました。フィーベース収益の増加は、運用成績手数料とこれによって生じた利息の収入の増加によるもので、その一部が資産運用、募集、取引、その他手数料収入の減少によって相殺されました。

株式資本参加による収入は減少しましたが、これはアバディーン社に対する株式持分比率が、同社の株式発行によって21.9%から21.0%に低下したことによる損失によります。当四半期の営業費用合計は2010年第2四半期を7%下回りましたが、これは従業員報酬および手当の減少および手数料費用の減少によります。

2010年第3四半期中に、アセット・マネジメント部門は、世界的なイベントドリブン・ヘッジ・ファンド大手であるヨーク・キャピタル・マネジメント社 (以下ヨーク) との間で、同社非支配持分の大量取得で合意しました。この株式取得取引は2010年第4四半期中に完了する予定です。さらに、ヨークのファンドを非独占的ベースで販売する体制も整える予定です。この株式取得は、マージンと資本効率の高い事業に集中し、グローバル事業基盤を活用するという当社の事業戦略の一環です。

部門別業績

単位：百万 CHF		2010年 第3四半期	2010年 第2四半期	2009年 第3四半期	2010年第2 四半期からの 増減率 (%)	2009年第3 四半期からの 増減率 (%)
プライベート・ バンキング	純収益	2,826	2,991	2,833	(6)	0
	貸倒引当金繰入額	(8)	3	35	-	-
	営業費用合計	1,998	2,114	1,931	(5)	3
	税引前利益	836	874	867	(4)	(4)
インベストメント・ バンキング	純収益	3,421	4,099	5,046	(17)	(32)
	貸倒引当金繰入額	(18)	17	18	-	-
	営業費用合計	3,044	3,298	3,282	(8)	(7)
	税引前利益	395	784	1,746	(50)	(77)
アセット・ マネジメント	純収益	582	502	765	16	(24)
	貸倒引当金繰入額	0	0	0	-	-
	営業費用合計	447	480	454	(7)	(2)
	税引前利益	135	22	311	-	(57)

新規純資産

プライベート・バンキング部門は2010年第3四半期に126億 CHF の新規純資産を獲得しました。ウェルス・マネジメント顧客事業の新規純資産は124億 CHF で、これは新興市場など海外業務における大幅な資産流入によるものです。ウェルス・マネジメント顧客事業の当四

半期の新規純資産の年率換算した四半期成長率は6.2%でした。コーポレート&インスティテューショナル顧客事業が当四半期中に獲得した新規純資産は2億CHFでした。

アセット・マネジメント部門が当四半期に獲得した新規純資産は36億CHFでした。これには、不動産およびコモディティ、新興市場商品、ETF、インデックス戦略などのオルタナティブ投資における正味資産流入分52億CHF、および従来投資業務における資産流出分15億CHFが含まれています。スイス国内アドバイザー、債券、株式業務からの資産流出が、マルチアセット・クラス・ソリューション業務の資産流入によって一部相殺されました。

クレディ・スイス・グループ全体の運用資産総額は当四半期末現在1兆2,512億CHFとなり、2010年第2四半期末現在を0.7%上回りました。これは主にプライベート・バンキング、アセット・マネジメント両部門における市場成績と新規純資産が外国為替関連のマイナス分によって一部相殺されたことによります。

統合バンク・モデルの利点

クレディ・スイスは、2010年第3四半期に統合銀行事業モデルからのコラボレーション収益10億CHFを創出し（2010年第2四半期は12億CHF）、2010年1-9カ月期の合計は32億CHFです。

資本基盤

クレディ・スイスの資本基盤は引き続き強固です。2010年第3四半期末時点のTier 1資本比率は16.7%でした。2010年第2四半期末時点は16.3%でした。

2010年1-9月通期業績

クレディ・スイス・グループの2010年1-9月通期の純利益は、42億5,700万CHFでした（前年同期は59億3,100万CHF）。2010年1-9月通期中核純収益は236億6,500万CHF（前年同期は270億8,400万CHF）、株主資本利益率は15.9%、希釈化後1株当たり利益は3.29CHF、新規純資産合計は551億CHFでした。

2010年1-9月期業績

単位：百万CHF		2010年 1-9月通期	2009年 1-9月通期	増減率 (%)
決算ハイライト	純収益 株主帰属ベース	4,257	5,931	(28)
	希釈化後1株当たり利益 (CHF)	3.29	4.59	(28)
	株主資本利益率 株主帰属ベース (年換算)	15.9%	21.8%	-
プライベート・バンキング	税引前利益	2,602	2,794	(7)
インベストメント・バンキング	税引前利益	2,973	5,815	(49)
アセット・マネジメント	税引前利益	323	(124)	-

* 基礎的純利益（2010年第3四半期）：信用スプレッドのひっ迫およびクレディ・スイスの長期債に関係するクロス・カレンシー・スワップを原因とするクレディ・スイス・バニラ債に関する正味時価関連費用5億8,900万CHF（税引前ベース）、各種の変動報酬に対する英国における課税に関連した非課税利益4,300万CHF、ならびに訴訟関連費用7,300万CHF（税引前ベース）を除く、正常化税率に調整された基礎的純利益9億6,000万CHF。

本件に関するお問い合わせ先

クレディ・スイス

コーポレート・コミュニケーションズ

梶野 勇

Tel : 03-4550-9893

Email : isamu.kajino@credit-suisse.com

クレディ・スイス AG について

クレディ・スイス AG は、世界有数の金融機関として、プライベート・バンキング、インベストメント・バンキング、アセット・マネジメント事業を世界中で展開し、アドバイザー・サービス、包括的なソリューション、革新的な商品を、世界中の企業、法人顧客、富裕層個人顧客、スイス国内の一般個人顧客に提供しています。クレディ・スイス AG は、世界 50 ヶ国以上に拠点をもち、約 50,500 人の従業員を有しています。親会社クレディ・スイス・グループ AG の株式 (CSGN) はスイスで上場され、米国預託証券 (CS) としてニューヨークでも上場しています。

Cautionary statement regarding forward-looking information and non-GAAP information

This press release contains statements that constitute forward-looking statements within the meaning of the Private Securities Litigation Reform Act. In addition, in the future we, and others on our behalf, may make statements that constitute forward-looking statements. Such forward-looking statements may include, without limitation, statements relating to the following:

- our plans, objectives or goals;
- our future economic performance or prospects;
- the potential effect on our future performance of certain contingencies; and
- assumptions underlying any such statements.

Words such as “believes,” “anticipates,” “expects,” “intends” and “plans” and similar expressions are intended to identify forward-looking statements but are not the exclusive means of identifying such statements. We do not intend to update these forward-looking statements except as may be required by applicable securities laws. By their very nature, forward-looking statements involve inherent risks and uncertainties, both general and specific, and risks exist that predictions, forecasts, projections and other outcomes described or implied in forward-looking statements will not be achieved. We caution you that a number of important factors could cause results to differ materially from the plans, objectives, expectations, estimates and intentions expressed in such forward-looking statements. These factors include:

- the ability to maintain sufficient liquidity and access capital markets;
- market and interest rate fluctuations;
- the strength of the global economy in general and the strength of the economies of the countries in which we conduct our operations, in particular the risk of a continued US or global economic downturn in 2010 and beyond;
- the direct and indirect impacts of continuing deterioration of subprime and other real estate markets;
- further adverse rating actions by credit rating agencies in respect of structured credit products or other credit-related exposures or of monoline insurers;
- the ability of counterparties to meet their obligations to us;
- the effects of, and changes in, fiscal, monetary, trade and tax policies, and currency fluctuations;
- political and social developments, including war, civil unrest or terrorist activity;
- the possibility of foreign exchange controls, expropriation, nationalization or confiscation of assets in countries in which we conduct our operations;
- operational factors such as systems failure, human error, or the failure to implement procedures properly;
- actions taken by regulators with respect to our business and practices in one or more of the countries in which we conduct our operations;
- the effects of changes in laws, regulations or accounting policies or practices;
- competition in geographic and business areas in which we conduct our operations;
- the ability to retain and recruit qualified personnel;
- the ability to maintain our reputation and promote our brand;
- the ability to increase market share and control expenses;
- technological changes;
- the timely development and acceptance of our new products and services and the perceived overall value of these products and services by users;
- acquisitions, including the ability to integrate acquired businesses successfully, and divestitures, including the ability to sell non-core assets;
- the adverse resolution of litigation and other contingencies;
- the ability to achieve our cost efficiency goals and other cost targets; and
- our success at managing the risks involved in the foregoing.

We caution you that the foregoing list of important factors is not exclusive. When evaluating forward-looking statements, you should carefully consider the foregoing factors and other uncertainties and events, as well as the information set forth in our Annual Report 2009 under IX – Additional information – Risk Factors.

This press release contains non-GAAP financial information. Information needed to reconcile such non-GAAP financial information to the most directly comparable measures under GAAP can be found in the Credit Suisse Financial Release 3Q10